

Q3

どうやってバイクに積むの？



◆今回使用した防水バッグは、右がウルフマン・エクスペディションダブル・ミディアム価格1万1500円(税抜き・問ジャベックス☎03-3773-7633)。左TTPL・touring40価格1万900円(税抜き・ttpoffice.com)



◆ストレッチコードは4本使うのがいいだろう。長さはおよそ60cmぐらいが平均だ。太さも重要で、細いものはダメ。8mm以上が理想だ。ホームセンターなどで入手可能で1本400円ぐらい。じっくり吟味しよう。



◆ストレッチコードを掛ける際はクロスと車体と平行に掛けるのが正解。長いコードを使うとテンションが均一にならず時間もかかる。(右) 細い紐をループして緩衝材にすると激しいショックでもフックが外れることはなく、車体への傷も軽減できるぞ。



◆デイバックを使えば、リヤのシートバッグに入らない物も収納できる。だが大きすぎると肩がこるし、バランスも悪くなるので30kgぐらいまでが無難だ。



◆防水バッグに入りきらないものや財布、携帯電話、デジタルカメラ、地図などはタンクバッグが便利。重量配分的にもリヤへビーにならないようにする。バーパッドに着けるホルダーがあればスマホをナビにすることもできるので便利だ。タナックス・オフロードタンクバッグ3。価格8700円(税抜き)

A 防水バッグとストレッチコードで しっかり積みましょう。

大きなバッグにキャンプ道具を収納したら、それをバイクに固定するわけだが、このとき「ネット」だけで固定するのは絶対にNG。ネットは固定力が弱く、走行中に落下する危険があるからだ。固定は4本の太めのストレッチコードを使い、クロスと車体と平行に掛けるのが正解だ。このときテンションが緩いとやはり危ないので強めのテンションでバイクに固定しよう。フックを掛ける場所だが、前はタンデムステップ、後ろはキャリアや荷掛けフックを使うが、フックが外れないよう、ループを使うのも一つのテクニックだ。

またガール読者の多くの方が乗っている250トレールを基準に考えると、この40程度のバッグがちょうどいい大きさだ。これ以上大きいとバランスも崩しやすい。このバッグに入りきらない分はタンクバッグやサイドバッグ、ウエストバッグ、デイバックなどに分散して持つのがいいだろう。

防水バッグに入りきらないものや財布、携帯電話、デジタルカメラ、地図などはタンクバッグが便利。重量配分的にもリヤへビーにならないようにする。バーパッドに着けるホルダーがあればスマホをナビにすることもできるので便利だ。タナックス・オフロードタンクバッグ3。価格8700円(税抜き)

キ ヤンプをするための道具が揃ったら、次はそれらをどうバイクに積むかを考えなくてはならない。シートバッグ、サイドバッグ、タンクバッグなどバイク用のバッグはさまざまあるが、そんな中でガールがオススメしたいのは大型の防水バッグを使って積載する方法だ。40ほどの防水バッグにテント、マット、寝袋、クッカー、バーナー、椅子など主要な大物を詰めてがっちりパッキングしてしまえば移動中に雨に降られても濡れる心配がない。とくにテント、マット、寝袋の就寝にかかわる道具は絶対に濡らしたくない。逆にテーブルやクッカーなど濡れても問題ないものは別のバッグに収納してもいいだろう。